すさきまちかどギャラリー通信

エムジープレス

εm.ʤiː.prɛs

第14号

2020. 7. 1 発行

様子をみながら　少しづつ　試験的に
ワークショップを行いました

「ふわり揺れるかべ飾りをつくろう」
「ポップアップカードをつくろう」
５月23日（土）

かべ飾りは、リボンやレース、毛糸などの中から好きなものを使って自由な発想でデコレーション！
世界にひとつだけの素敵なかべ飾りができました。
ポップアップカードは、開くと立体的に飛び出すカードです。贈られた人がカードを開いた時に喜んでもらえるようにと、想像しながら作ってくれました。

制約のある中での開催でしたけれど、子どもたちは発想力・想像力の羽根を軽やかに羽ばたかせて、とても素敵な作品に仕上げてくれました。
贈る人のことを想いながら一生懸命作っている姿はとてもうれしく印象に残りました。（大野）

「ふわふわゆれるモビールをつくろう」
５月31日（日）

当日は、年長さんの女の子とお母さん、ギャラリーにふらりと立ち寄られた年配の男性、計三名が参加されました。

みなさんそれぞれが自身の感覚に静かに耳を傾けながら、飾りを選び、並べる順番を考え、熱心に製作に取り組んでおられる姿が印象的でした。

日常から少し離れ、ギャラリーに流れるゆったりとした時間のなかで、作ることに集中し、楽しんで帰っていただけたことをうれしく思っています。（山木）

感染症の緊急事態宣言が解除されましたが感染症の不安は残っており、これまでの日常をまだ取り戻せていません。このような中いま、私たちにできることを考え、少しでも楽しんでもらいたいと思い企画しました。
今後も様々なワークショップを予定しています。お知らせはホームページやフェイスブックで行っていますので、ぜひご覧ください。

コロナ禍の影響で、3月初旬からイベントや、貸館などが中止、キャンセルが相次ぎました。その分、空いた時間を利用して、今まで手を付けられずにいた金庫内の資料整理を開始。資料整理に詳しい方からレクチャーを受けました。

まず番号をつけて写真撮影。それから布メジャーで資料の大きさを測定します。

それからは、じっくりと資料とにらめっこ。時には虫眼鏡を使い、読み取れたものをメモします。大体、崩し字で読めないのですが、日付は比較的読みやすいのです。日付で当時の社会情勢を調べると、資料から読み取ることのできたワードとリンクして「そういうことか！」という気づきもあって、おもしろいです。

今回のステイホームの機会に、断捨離をする方が多くいらっしゃるとか。思い切って捨てる整理整頓は気持ちいいのですが、廃棄物が貴重な資料の可能性も…。そういったことを危惧してこうちミュージアムネットワークさんが資料の相談窓口を開設されたそうです。廃棄予定のお品、ちょっとまよったら相談してみてもいいかもしれませんね。

当館の資料はじっくりと記録し、須崎の歴史の裏付けに役立てたり、新しい情報をお伝えできるように精査していきたいと思います。が、先はまだまだ長そうです。

イラスト：山木真未

こうちミュージアムネットワークへの相談は
088・871・1629（こうち MN 事務局）まで。

編集後記

すさき七夕かざり実行委員でもある私。疫病除けの意味もある七夕かざりのわら馬を仲間とともに 20 対作りました。当館と須崎市観光協会さんとで配布したところ、あっという間にもらわれていきました。「あの馬はどこにいるのかな～。」と思っていたら、先日定食屋さんに飾られているのを発見。うれしい！！そんなこんなで、わら馬作り体験メニューも目下作成中ですので、おたのしみに～。（佐々木）

すさきまちかどギャラリー
旧三浦邸

発行：すさきまちかどギャラリー
〒785-0004　高知県須崎市青木町 1-16
TEL.：050-8803-8668
HP：machikado-gallery.com

開館時間：　9:00 ～ 17：00
月曜日休館　祝日の場合は翌日休